

What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.35 August 2012

第2回研究会を開催 7月21日(土)

第2回研究会は、「50周年に向けて～関西大学の誇れる技術～」をテーマに講演会を開催いたしました。当日は73名の会員・先生・学生が参加しました。

今回は、本振興会企画担当の株式会社アスク 武内博資様が司会を務め、大変活気のある研究会となりました。

また、本振興会会員同士の交流の深化を目的に、今回も会員企業のPRの機会を設けました。本振興会会員にとりましても、会員企業を知る絶好の機会となりました。

研究会終了後の交流会では、講演者や多くの会員企業が参加し交流を深めました。

1 講演「金属ナノ粒子の革新的機能(発光・電子・触媒)材料への展開」

化学生命工学部 准教授 川崎 英也 氏

金属は粒子サイズが小さくなるとその表面積が飛躍的に大きくなり、ナノ粒子はバルク金属とは異なった性質を示すことが知られています。川崎先生は、銅ナノ粒子を始め、様々な金属のナノ粒子を製造する技術を開発され、この分野では先端的な研究をされています。今回は、金属ナノ粒子の基礎的事項を解説していただくと共に、金属ナノ粒子の発光・電子・触媒材料への応用の現況と将来、さらにプリンティッドエレクトロニクス分野で次世代の金属ナノインクとして注目されている銅ナノ粒子の製造法と今後の展開について先生の研究成果を解説していただきました。



2 講演

「LED 高輝度白色 LED の進歩と照明への応用および世界の LED の取り組み」

サンユレック株式会社 相談役 奥野 敦史 氏

サンユレック株式会社は、電子・土木・建設・半導体・LEDなどの材料として年間約8,000トンを超えるエポキシ樹脂、ウレタン樹脂、シリコン樹脂などを生産・提供し、業界をリードしている研究開発型の企業です。奥野相談役は、関西大学のOBで、本学工学部の助手を経て同社の立ち上げから現在の発展までを先頭に立って貢献されてきました。本講演では、LEDの仕組みから同社が世界的シェアを占めているLED封止剤の発展およびウレタン、エポキシ、シリコン樹脂を用いた同社封止剤の特徴を解説いただきました。さらに、LED分野での世界各国の現状についてもご紹介いただきました。



3 会員企業のPR

(1) 久門紙器工業株式会社

久門紙器工業株式会社は、原紙からダンボールシートとケースを一貫製造できるメーカーです。コルゲーター(ダンボール貼り合わせ機)やフレキシフォルダーグルア(印刷・糊貼を同時に作成できる機械)などの、自社工場に保有している製造装置を含むダンボールの製造工程および受注から納品まで流れを解説されました。さらに、同社は環境改善(ISO14000を含む)に注力されており、その成果が紹介されました。



(2) 株式会社サンカラー SHIPPING

株式会社サンカラー SHIPPINGは、中国からの留学生として本学を卒業された河原社長が設立された海外物流会社です。当初は、写真現像サービスのサンカラー社の国際貿易部門として発足しましたが、現在は独立して中国や東南アジアを中心に世界各国の業者とのネットワークを構築されています。輸出入の通関業務を含め、海外貿易物流に関するお客様の様々なニーズに対応可能です。



(3) モリテックスチール株式会社

モリテックスチール株式会社は、みがき特殊鋼・ゼンマイ・焼入鋼帯の販売を出発点にその後ゼンマイ・焼入鋼帯の製造販売、金属加工品の製造販売を行っている一部上場企業です。国内の主力工場は、三重県伊賀市と栃木県宇都宮市にあり、タイにも製造子会社を持っています。主力製品が自動車の CVT 用ミッションに使われていることから売上げの 3/4 が自動車メーカー向けとなっています。ゼンマイ製造の技術を生かした自社品としてコードリールやルームハンガーの製造販売を行い、自動車依存度の改善努力も行っています。



アンケート集計結果

今回は 44 件の回答を得ました。その中で、研究会の内容については、「参考になった」「やや参考になった」が 79%、「理解しやすかった」「やや理解しやすかった」が 75%、長さも「適当」が 75%でした。また、「関心のある技術分野」については、「素材・材料」「ナノテクノロジー」との回答が多く、「知りたい情報」については、「実用化が期待される研究成果」「研究者の研究内容・専門分野」との回答が多くありました。

これらの結果を、今後の研究会活動に反映するよう努めてまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

天神祭 鳳講の船渡御 奉納船に乗船 7月25日(水)

天神祭のフィナーレを飾る船渡御、奉納船鳳講の船に振興会会員・機構研究員 20 名が乗船し、天神祭を堪能しました。鳳神輿は黄金色が一層際立ち、鳳講は御神霊を祀る講の一つで格式があり、乗船の機会は貴重なものです。川面にゆれる篝火とともに約 3,000 発の花火により、夜空を彩る大川の船旅を楽しみました。船と船がすれ違うたびに、「大阪じめ」で祭り気分は盛り上がり、特に校友会の「関大丸」とすれ違うときは更に熱がこもり、最高潮に達しました。



第7回理工学国際シンポジウムを後援 8月30日(木)～31日(金)

8月30日(木)～31日(金)に「第7回 関西大学理工学研究科・理工系3学部と近隣アジア諸国の大学との国際シンポジウム—理工学分野における近隣アジア諸国との連携—」がマレーシアにて開催されます。本振興会も後援し、第2回研究会に先立ち紀和会長から化学生命工学部長 田村先生へ目録をお渡しし、10万円の寄付をいたしました。



振興会のホームページ

<http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/sinkokai/index.html>

関西大学 HP からサイト内検索で「振興会」を入力して下さい

ASCIKU 関西大学科学技術振興会

Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University